

結城紬産地振興人材育成研修



図1 染色コース（かせ糸浸染）



図2 製織準備コース①（繰り返し）



図3 製織準備コース②（掛糸掛け）



図4 製織コース

【内 容】

本研修は、茨城県の地場産業である結城紬の生産技術者育成を目的に実施しています。

結城紬は分業による生産体制となっていますが、技術者の高齢化に伴い、将来的に複数の生産工程を担える人材の育成が産地の課題となっています。

そのため、令和5年度に研修メニューを刷新し、結城紬の製造工程ごとの研修コースとしました（表1）。

既に結城紬の製造に従事している方は、必要な研修コースを選択することができ、また未経験の方は、結城紬に関する一連の基礎技術を習得することが可能です。

表1 令和6年度 研修コース・研修内容

コース名	のべ日数	主な内容
機織基礎	約3日	結城紬基礎、織物設計、機結び、たて結び
糸準備	約3日	糸織度計算、糸揚げ
染色 (図1)	約10日	浸染基礎座学、染料計算・計量方法、かせ糸浸染実習
製織準備① (図2)	約35日	下糊付け、繰り返し、かせ揚げ、整経、本糊付け
製織準備② (図3)	約15日	先分け、箆通し、機巻き、前結び、小巻き、掛糸掛け、かしあげ
製織 (図4)	約130日	地機製織（帯地1本、着尺2反）
絣製織	約5日	100帯状又は飛び絣製織

【研修の成果】

今年度は、4名（未経験者2名、従事者2名）を受け入れており、研修修了後は、結城紬製造企業で即戦力として生産に携わっていくことになります。

これまでの研修修了生は、毎年開催される茨城県本場結城紬織物協同組合主催の「本場結城紬作品展」に数多く入選しており、産地内でも高い評価を得ています。

また、結城紬の織手として経験を積んだ修了生の中には、伝統工芸士の認定の取得、絣括りなどの技術習得、さらにオリジナル製品の製造に取り組み始めた方もおり、産地を担う人材として活躍が期待されています。

基礎となった事業

令和6年度 人材育成事業

担当グループ

繊維・紬G

グループ長

小林 哲也

TEL:0296-33-4154

主任研究員

中野 睦子

会計年度職員

渡邊 直子